

令和4年8月24日

市政記者各位

アーティストの成長・交流拠点 「Artist Cafe Fukuoka」オープン！！

福岡市では、美術館や福岡アジア美術館のこれまでの取り組みをさらに発展させ、**彩りにあふれたアート**のまちを目指して、「Fukuoka Art Next」を推進しています。

旧舞鶴中学校を活用し、アーティストの創造活動・スタートアップを支援する拠点「**Artist Cafe Fukuoka**」を9月1日にオープンします。

つきましては、8月31日にArtist Cafe Fukuokaで、オープニングセレモニーを行いますので、是非ご取材いただきますようお願いいたします。

■ オープニングセレモニー

- 日 時:8月31日(水) 14:00-18:00
- 会 場:Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース
(旧舞鶴中学校 中央区城内2-5)
- 内 容:
 - 14:00 オープニングセレモニー
 - ・高島市長挨拶
 - ・レジデンス作家の紹介(別紙1参照)
 - ・Fukuoka Wall Art Project2022の受賞者発表 等
 - 14:30 施設見学会
 - ・ギャラリースペースに、Fukuoka Wall Art Project 2022受賞者の作品を展示
 - 15:00 トークセッション
 - ・アーティストやアートコミュニティ代表者を交え3部構成で実施
 - ※ トークテーマ・登壇者一覧は別紙2参照
 - 17:00-18:00 交流会



外観イメージ

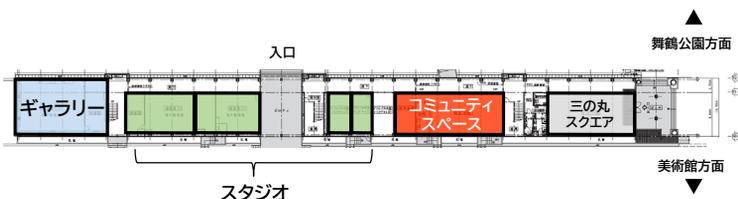


■ Artist Cafe Fukuoka 概要

【主な機能】アーティストのスタートアップ支援(相談やマッチング、イベント開催等)、アーティスト・イン・レジデンスの拠点、ギャラリー機能

※機能詳細については、別紙委託事業者のリリースをご覧ください。

- 開設時間:11:00 - 19:00
- 休 館 日:毎週月曜(休日の場合はその翌平日)、年末年始



コミュニティスペースイメージ

【Artist Cafe Fukuokaに関する問い合わせ先】

所属:経済観光文化局文化振興部課長 (アートのまちづくり推進担当)井上、梶原
TEL : 707-3779(1896)

国内外からの応募総数312組より選考の末、以下の6組を招聘、Artist Cafe Fukuokaのスタジオを拠点に制作を行います。

- ・第II期(9-12月)大西康明(日本)、ソー・ソウエン(福岡)、ゴン・ジエション(台湾)
- ・第III期(1-3月)下寺孝典(日本)、長野櫻子(福岡)、ドクペルー(ペルー)

II 期	<p>大西 康明 氏 Onishi Yasuaki (日本)</p>	<p>1979年生まれ、大阪府富田林市在住。2004年京都市立芸術大学大学院修了、2011年ポーラ財団在外研修員として英国滞在、2014年福岡市美術館特別展「想像しなおいし」出品。日常の素材を用いて空間を作り出すインスタレーションを制作。</p>	
	<p>ソー・ソウエン 氏 Soh Souen (福岡)</p>	<p>1995年生まれ、北九州市在住。2019年京都精華大学卒業、2020年個展「ささやかな叫び」(東京)、2022年小内光と二人展(蔦屋書店、東京)。肖像写真からドットのみを抽出した絵画、自らの体の輪郭をかたどった絵画等を制作。自分のアイデンティティーが何によって成り立っているかを、自らの身体との関わりにおいて追究。</p>	
	<p>ゴン・ジエション 氏 Keng Chieh-Sheng (台湾)</p>	<p>1989年生まれ、台湾・台北在住。2016年交換プログラムで多摩美術大学で学ぶ。2019年台湾国立芸術大学大学院修了。台湾を含む東アジアの人間の習慣と身体に注目してオブジェを制作。</p>	
III 期	<p>下寺 孝典 氏 Shimodera Tananori (日本)</p>	<p>1994年生まれ、大阪市在住。2019年京都芸術大学大学院修了(修了展で浅田彰賞受賞)、2019年片岡真実キュレーション「KUAD ANNUAL2019 宇宙船地球号」(東京都美術館)。東南アジアの都市でみられる移動式屋台の研究結果から作品を制作。</p> <p>★トークセッションオンライン参加</p>	
	<p>長野 櫻子 氏 Nagano Sakurako (福岡)</p>	<p>1989年生まれ、福岡市在住。2016年広島市立大学芸術学研究科修了、2018年～情報科学芸術大学院大学メディア表現学科 入学(2022年現在 在籍中)、2022年個展(福岡市、エウレカ)。自己と他者の関係を主題とし、展示する場所の特性を活かした映像作品を制作。</p> <p>★オープニングセレモニー、トークセッション参加</p>	
	<p>ドクペルー Docuperu ホセ・バラド ヒメナ・モラ (ペルー)</p>	<p>2人組のグループ。ペルー・リマ在住。2003年グループ結成。バラド:1961年生まれ、2012年よりUPC (ペルー)および TEC MX(メキシコ)教授 モラ:1979年生まれ、2015年よりUPC and PUCP大学教授 地域の人々、歴史に密着したドキュメンタリー映画を制作。</p>	

アートを通じた彩りにあふれたまちを目指す「Fukuoka Art Next」事業のひとつ、Artist Cafe Fukuokaはアーティストの創造活動・スタートアップを支援する拠点として旧舞鶴中学校舎を活用してオープンします。

オープニングを彩るトークセッションでは、アーティストの皆さんを中心にアートに関わる多様な方々と一緒に、これからスタートする「Artist Cafe Fukuoka」で起こる様々な創造的活動やその可能性についてトークを行います。

登壇者一覧

Session1 「アート×まち、可能性」 (時間)15:00-15:40

アーティストでありながらもアーティストの交流や発表の場づくりも行う生島氏、アート・マーケットの立場からアートを社会に繋げることで支える井上氏、まちを舞台にしたアートプロジェクトを手掛け続けてきた山出氏。アートを通じた好循環を生み出す3人それぞれの立場から、アートがあることで起こる様々な可能性やArtist Cafe Fukuokaという場があることでどのようなことが期待されるかをお話いただきます。

<p>生島 国宜 氏 (いくしまくによし)</p>	<p>画家、キュレーター、Overground LLC.代表 2003年武蔵野美術大学油絵学科卒業。福岡を拠点に活動。ビビッドな色彩や簡略的な線を用いて、主にポートレートや植物といったモチーフを絵画にして発表している。また、キュレーターとして展覧会・イベント等の企画を行う。2022年福岡にて会員制Arts Club「Overground」を立ち上げ、代表を務める。</p>	 <p>©Road Izumiya</p>
<p>井上 雅也 氏 (いのうえ まさや)</p>	<p>一般社団法人 アートフェアアジア福岡 理事/株式会社 TODOROKI 代表取締役 アート領域のスタートアップ株式会社TODOROKIを2018年に創業し、アートに特化したECモールやオークションシステムなどを開発・運営。アートマーケットのDXによって、アートに関わるすべての人に還元が生まれる仕組みづくりに取り組む。また、国内有数のアートフェアに急成長しているアートフェアアジア福岡(AFAF)の運営には2018年から携わり、2022年一般社団法人の理事就任。</p>	
<p>山出 淳也 氏 (やまいで じゅんや)</p>	<p>アーティスト/Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役/BEPPU PROJECTファウンダー 文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002~04年)するなど、国内外でのアーティストとしてのキャリアを経て、2005年にBEPPU PROJECTを設立。以降、BEPPU PROJECTが企画し実現した1,000以上の取り組み全てに関わり、国内有数のアートNPOに育てる。2022年3月、BEPPU PROJECTの代表を退任し、Yamaide Art Office 株式会社を設立、代表取締役に就任する。</p>	

Session2 「アーティスト・イン・レジデンスのこれから」 (時間)15:40-16:20

福岡アジア美術館で開館当初から行ってきたアーティスト・イン・レジデンス事業。今回、FaN事業で国内と福岡のアーティスト枠を加え、事業拡充しています。今までのレジデンス事業を振り返りながら、これからの時代のレジデンスのあり方や可能性について、レジデンスアーティストをお話いただきます。

<p>城 一裕 氏 (じょう かずひろ)</p>	<p>九州大学芸術工学研究院 准教授 / 山口情報芸術センター[YCAM] 専門委員(非常勤) 1977年福岡県生まれ。博士(芸術工学)。英国ニューカッスル大学Culture Lab、東京藝術大学芸術情報センター[AMC]、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]を経て、2016年3月より現職。専門はメディア・アート。現在の主なプロジェクトには「Life in the Groove」、「The SINE WAVE ORCHESTRA」、「phono/graph」などがある。</p>	 <p>(撮影:十河英三郎/Sogo Eizaburo)</p>
------------------------------	---	---

レジデンス・アーティスト 長野櫻子氏(会場参加) Ⅲ期、下寺孝典氏(オンライン参加) Ⅲ期(プロフィールは別紙2参照)

<p>宮本 初音 氏 (みやもと はつね)</p>	<p>福岡アジア美術館レジデンス事業コーディネーター/ART BASE 88 代表 1962年生。福岡市在住。街なかのアートプロジェクト、アーティストインレジデンスなどの企画運営を行う。「ミュージアム・シティ・天神」、「WATAGATA Arts Network」、コレクティブ企画「秋の種」など。2022年度福岡アジア美術館レジデンス事業コーディネーター。</p>	
-------------------------------	---	---

Session3 「アートスタートアップ」 (時間)16:20-17:00

「Artist Cafe Fukuoka」が目指すアートスタートアップ。京都でアーティストが主役であるアーティストフェア京都のディレクターを務める椿氏と、福岡のスタートアップを牽引してきた小笠原氏がそれぞれの立場から、アートスタートアップとは何なのかについてを深掘りをしていきます。

<p>椿 昇 氏 (つばきの のぼる)</p>	<p>現代美術家、東京芸術大学油画客員教授 1989年に展覧会のタイトルを自ら命名した全米巡回の展覧会「アゲインスト・ネイチャー」に参加。1993年ベニスビエンナーレ・アパルト部門に参加。2018年からは「ARTIST'S FAIR KYOTO」を創設してディレクターを務め、現代アートの新たなプラットフォーム育成に注力。OCA TOKYOやユニバーサルミュージック本社、DMG森精機などのコーポレートコレクションディレクターも兼務している。</p>	
<p>小笠原 治 氏 (おがさわら おさむ)</p>	<p>株式会社ABBALab 代表取締役/さくらインターネット株式会社フェロー/京都芸術大学教授 さくらインターネット株式会社の共同ファウンダーを経て、ネット系事業会社の代表を歴任。2013年、ABBALabとしてシード期のスタートアップへの投資事業を開始。2015年、さくらインターネットにフェローとして復帰。2017年、京都芸術大学教授・クロスセックデザインコース長に就任。2021年6月からtsumug取締役。福岡市スタートアップ・サポーターズ理事等。</p>	

2022年8月24日

報道関係各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

アートを育み、循環する社会を目指す
Artist Cafe Fukuoka 9月1日 オープン
～都市と人とアートをつなぐ、アーティスト支援施設～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（本社:東京都渋谷区 / 代表取締役社長兼 CEO 増田宗昭、以下 CCC）は福岡市が目指す「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向けて、都市と人とアートをつなぐ、アーティスト支援施設「Artist Cafe Fukuoka」を福岡市からの運営受託のもと、9月1日に開業いたします。

「Artist Cafe Fukuoka」: <https://artistcafe.jp/> (8/31 にサイトオープン)



福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしの中で身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進することにより、アートの力による「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出し、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」となることを目指しています。

「Fukuoka Art Next」は、「アートのある暮らし」「アートのスタートアップ」の2つを事業の柱とし、アートによる市民のWell-beingの向上と、世界で活躍する福岡発のアーティストの増加を目指しており、なかでも都市と人とアートをつなぐ拠点となるのが「Artist Cafe Fukuoka」です。

■「Artist Cafe Fukuoka」概要 「Artist Cafe Fukuoka」では、アーティストのスタートアップ支援（相談やマッチング、イベント開催等）を行うとともに、アーティスト・イン・レジデンスの拠点、ギャラリー機能を持っています。アーティストが活動を広げられること、アーティストとして活動をはじめやすい土壌をつくること、市民にとってアートが日常になる空間や体験の提供を行うことを目

本件に関するお問い合わせ：

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 広報室
TEL：03-6800-4764 / tsutaya_pr@ccc.co.jp

的としています。そこで、サービスとしては①相談②イベント③マッチング④販売促進の4つを展開します。それにより、アーティストの成長・販路開拓につながる道筋を提供し、福岡発のアーティストを発掘・育成や、アートに関心をもつ市民の裾野を広げることで、CCCとしてアートを通じた「都市の成長」に貢献してまいります。

■「Artist Cafe Fukuoka」4つのサービス

【1】相談

コーディネーターが常駐し、一次相談で相談内容の全体像を把握します。その後、二次相談先として、アーティストによる経験値に基づいたアドバイスや、起業やブランディングなど様々な専門のアドバイザーへ繋ぐことで、相談者の今後の動き方や選択肢が明確になる仕組みをつくりまします。また市民が気軽に相談・交流できる場づくりも行います。

また、「Artist Cafe Fukuoka」の交流スペース・ギャラリースペースには、九州大学の在野保存家具(※注1)を設置し、文化的な香りのする空間で作品を鑑賞したり、アートの書籍を読むことができます。また画材なども展開し、どなたでもアートに触れられる、居心地のよい、気兼ねなく交流を図ることができ、創作意欲の刺激にもつながる空間を提供します。※注1【在野保存家具】歴史的什器の新たな保存のあり方として個人や事業所等に貸出・活用しながら保存していく取組。



【2】イベント

コミュニティスペースを活用し、アーティストが最新のアート業界情報に触れられる情報発信を目的としたイベントの実施、ギャラリーやキュレーターとの交流会、先輩アーティストの実体験を聴くトークイベントなどアーティストの成長、能動的なアクションにつながるコンテンツの提供を行います。

【3】マッチング

成長を目指すアーティストに、「人やネットワーク」「経験や学び」「販売促進や販路開拓」をテーマに、イベントやワークショップ等を通じてネットワーク構築の機会を提供します。また、相談者の作品をデータベース化してHPに掲載し、企業等からのアート展示や購入検討に対して作家情報や作品情報を提供しマッチングを推進します。さらに、CCCグループのアセットとして書店や指定管理美術館等の活用、クラウドファンディングを活用した支援など、販売促進を効果的に実施します。

【4】販売促進

【1】～【3】によるアーティストデータベースの構築とCCCグループのアセットを活用した販売促進に加え、福岡を代表するカフェ（11店舗）にてカフェ内での展示販売をすることにより、アーティストに向けては販路の拡大、カフェや書店を利用する市民に向けては、アートが日常に溶け込み、アートを鑑賞・体感することで心を豊かにする場を提供します。

■ Fukuoka Artis Cafe 概要

所在地：福岡市中央区城内2-5

電話番号：080-2481-5997

営業時間：11-19時（定休：月曜・年末年始）

URL：<https://artistcafe.jp>

本件に関するお問い合わせ：